

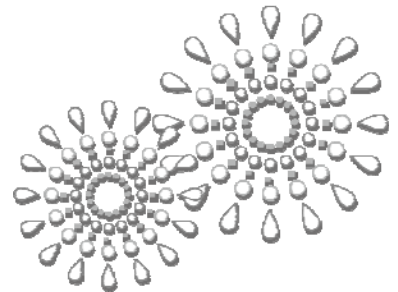


小田原市議 佐々木ナオミの

議会な日々ニュース

市議会議員
佐々木ナオミ

発行：佐々木ナオミ後援会「チーム・ナオミ」 発行責任者 佐々木ナオミ
〒250-0045 小田原市城山 1-6-33 tel&fax 0465-34-2834
メール love-and-peace@naomi-sasaki.com
HP <http://naomi-sasaki.com/>



6月議会から

地下街は再生できるか？ 大型事業はこのまま進めて大丈夫？

一般質問、地下街の今後を問う

市民ホールや駅前再開発など、いくつかの大型事業が懸案となっているなか、今、最も力を入れて取り組まなければならない課題は、小田原地下街の今後です。

小田原地下街は、「土地」をJRと小田原市が所有し、「建物」である地下街は小田原市が所有をしています。現在は閉鎖中なので、テナント料が入らず収入はゼロですが、空調や光熱水費など、その他もろもろの経費が年間約4千万円ほど掛かっています。

4月21日の総務常任委員会では、地下街を再生するのに全部で約22億円掛かりそうだと試算が出ました。地下街を再生すると一口で言っても、なかなか厳しい状況です。

建設委員会での概算工事費

	内容	概算工事費
耐震補強工事	地下街、管理棟	3千万円
設備関係更新費	空調・電気設備費	約12億7千万円
その他	店舗部分改修など	約3億8千万円
	レイアウトの変更等に伴う追加経費	約5億4千万円
合計		約22億2千万円

優先順位よりも、「あきらめる」選択も視野へ！

現在小田原市では、地下街のほかにも、市民ホール、駅前再開発、ごみ処理広域化など、数十億から数百億円単位の大規模な予算を伴う事業が計画されています。これらの事業のほとんどは、国の補助金と市の新たな借金。国も、県も負債だらけの現状、福祉の拡大や食糧難、自然環境の破壊といった、生命に関わる様々な問題が、これからますます深刻化していくことが予想されます。そのツケは、未来の子どもたちが払うことになります。これらの事業をすべて進めて、小田原の未来は、この国の未来は本当に大丈夫なのか、もう一度各事業の必要性や将来的展望を精査し、「あきらめる」といった大胆な決断が、まさに今迫られているのではと質問をしました。

市長は厳しい財政状況を認識しながらも、どれも必要不可欠な事業として取り組むという答弁。市民ホール予定地は、現在中心市街地の子どもたちの貴重な遊び場となっています。市民ホールは必要ないのではという一部市民の声も聞きます。生ごみたい肥化プロジェクトなどのごみの減量化を進めている中で、本当に広域化する意味があるのか。「あきらめる」または規模を縮小することも今後の検討課題としてほしい、と市長に訴えました。

「命を大切にす小田原」の未来のために、今本当に必要なものは何か。

大人の責任として議論を始めるのは、今しかないと思います。

下水道料金の値上げ条例に反対しました！

6月議会では下水道料金の値上げが提案され、私は反対をしました。しかし、賛成多数で可決され、この10月から下水道料金は値上げされることが決まりました。

昨年12月議会でも値上げが提案されましたが、加藤市長が突然の取り下げを行いました。その理由として、市民、事業者、議会とのより広範な議論をさらに時間をかけて、開かれた形の中でしっかり情報を共有しながら行いたい、とのことでした。それから約半年で出された今回の下水道値上げ条例。平均改定率は昨年提案があった13.65%よりも低い11.98%となり、少し値上げは緩和されたとはいえ、県下19市中3番目の高さになります。一般会計から下水道特別会計への繰り入れが増え続けていること、老朽化した管の維持管理費の増大していること、下水道使用料の減少傾向による財源不足などの課題を考えれば値上げは避けられない事態です。しかし、値上げありきではなく、合併浄化槽も含めた生活排水処理全体を考え、下水道の計画区域の縮小も視野に入れた見直しを行うなど、コスト削減の将来展望を示した上での値上げををすべきだと思います。

公共料金の値上げは慎重に！

今回反対したのは、果たして加藤市長の言う十分な議論がなされたのか？という疑問もあるからです。前回の取り下げからの約半年間で、それがなされたとは思えません。さらに、今年度は試算間違いによって、国民健康保険料が年平均約4000円と大幅に値上がりました。これも、市民に対してのきちんとした説明があったとは思えません。市民生活に大きな影響を与える公共料金の値上げに対して、もう少し慎重な取り組みをすべきではないか、思います。

料金改定後の県内の水量ランクごとの 下水道料金の比較

(平成22年4月1日現在)

20 m ³ /2 か月 (基本使用料) 単位 円	
①	伊勢原市 1,959
②	鎌倉市 1,902
③	小田原市 1,901
④	秦野市 1,806

40 m ³ /2 か月	
①	三浦市 4,725
②	小田原市 4,568
③	川崎市 4,116
④	伊勢原市 4,038

60 m ³ /2 か月	
①	三浦市 8,085
②	小田原市 7,802
③	川崎市 7,560
④	横浜市 7,518

100 m ³ /2 か月	
①	川崎市 17,724
②	横浜市 17,346
③	三浦市 17,199
④	小田原市 15,488

あたらしい市民政治グループ 「@あしがら」の設立に参加しました!!



「@あしがら」は、市民自治と地方分権を目指す、市民主体の政治団体です。議員が主体なのではなく、市民が自分たちの暮らしを、政治を使って主体的に作っていかうということで、自ら「市民政治グループ」と名乗っています。キャッチフレーズは「僕らの市民自治」。5月22日に設立総会を行い、7月3日には新しい事務所の開所式を行いました。

事務所は、市民のみなさんに「サロン」として開放しています。打合せや休憩にぜひご利用ください。私も水曜日の午後には事務所におります。

WEB上でも情報を発信しています。ぜひご覧ください。
@あしがら HP <http://at-ashigara.com/>
ブログ <http://atashigara.blog69.fc2.com/>

佐々木ナオミ、無所属議員になりました

なお、私、佐々木ナオミはこれまで「神奈川ネットワーク運動」公認議員でしたが、所属していた神奈川ネットおだわら市民会議の解散にともない、無所属議員となりました。これまで通り、市民の暮らしの実感を議会で提案し、さらに地域に根差した活動に努めてまいります。

どうぞ、よろしくお願ひします。HPも新しくなりました！ <http://naomi-sasaki.com/>



「@あしがら」の事務所オープンセレモニーにて、運営委員のメンバーと一緒に♪